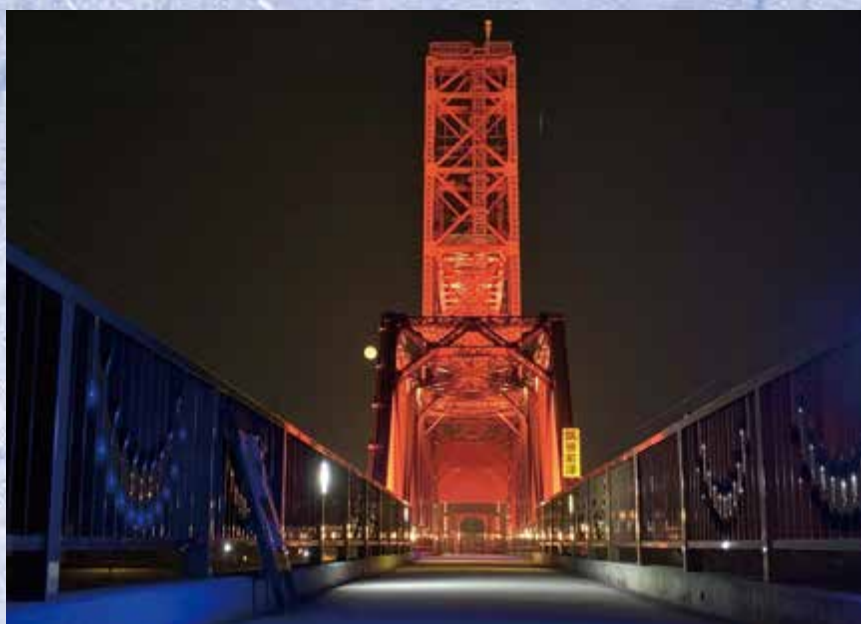


「さが市議会だより」

第81号

さが市議会だより

「題字」佐賀北高等学校3年
齊藤 彩菜さん



筑後川昇開橋
日没から22時まで、毎日ライトアップされています。

令和5年6月定例会

- 2 | 補正予算・条例等
14議案を可決・承認
- 5 | 常任委員会審査報告
- 7 | 「市政 ここが聞きたい」
■25名の議員が一般質問
- 16 | 佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に
関する調査特別委員会
- 18 | 議会報告会



佐賀市議会HP

補正予算・条例等14議案を可決・承認

6月定例会は6月15日に開会し、7月5日に閉会しました。補正予算4件、条例5件、一般5件の計14議案を全て可決（承認を含む）しました。

可決した補正予算の総額は約13億200万円で、補正後の予算総額は、約1068億7200万円となり、前年度同期に比べ1.3%の増となっています。

令和5年度一般会計補正予算

★は新規事業

◎新型コロナウイルス感染症

対応地方創生臨時交付金関連

政策推進部

★スーパーアプリを活用した電子地域振興券発行事業

1億5330万円

・市公式スーパーアプリを通じて、参加店舗で利用できる電子地域振興券を発行し、市内生活者および事業者の支援等に要する経費

経済部

☆DX推進支援モデル事業

2900万円

・DX推進のための社内教育や計画策定等の体制整備および

策定されたDX計画に基づいたデジタルツール等の導入に対する補助経費

DX導入支援事業費補助金
令和5年度から令和6年度までの債務負担行為限度額
2800万円

保健福祉部

★住民税非課税世帯生活支援給付金支給事業

9億4264万円

・住民税非課税世帯に対する生活支援給付金の支給に要する経費

地域振興部

★自治公民館空調機等省エネルギー化促進事業

600万円

・自治公民館における省エネ性能が高いエアコン、照明器具への更新に要する経費に対する補助経費

教育部

☆学校給食物価高騰等対策経費

1633万円

・物価高騰等のため例年以上の値上げとなった学校給食における牛乳の値上げ相対分の補助経費



◎通常分

農林水産部

★麦・大豆生産技術向上事業

1627万円

・麦・大豆の生産性向上に必要な営農技術等の導入を行う農業者の組織する団体等に対する補助経費

★麦・大豆機械導入対策事業

5928万円

・麦・大豆の生産拡大に必要な機械の導入を行う農業者の組織する団体等に対する補助経費

条例等の主なもの

佐賀市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の改正

・脊振広域クリーンセンターで処理している諸富町と三瀬地区の区域における一般廃棄物について、令和6年度から佐賀市清掃工場で処理することに伴い、当該区域の一般廃棄物処理手数料を改定するもの



佐賀市市税条例の改正

・地方税法の一部改正等に伴い、電気自動車など一定の環境性能を有する軽自動車について、その燃費性能に応じた軽自動車税の種別割に係る軽減特例措置の延長等を行うもの



意見書

〔賛成多数で可決〕

▼佐賀駐屯地（仮称）の設置及び運営に関する意見書

※P 17に全文掲載

議案等の審議結果

	議案番号	議 案 名		審議結果
令和5年度補正予算	43	一般会計補正予算（第2号）	補正額 9億4,264万円	全会一致で可決
	44	一般会計補正予算（第3号）	補正額 3億5,960万円	賛成多数で可決
	45	自動車運送事業会計補正予算（第1号）（市営バス）		
条例	46	職員の特殊勤務手当に関する条例の改正		全会一致で可決
	47	廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の改正		
	48	市税条例の改正		
	49	ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の改正		
	50	子ども・子育て会議条例等の改正		
一般	51	市道路線の廃止	城内船津線ほか1路線	賛成多数で承認
	52	市道路線の認定	末次船津線ほか16路線	
	53	西川副公民館新築（建築）工事請負契約の締結	株式会社富士建設	
	54	健康運動センター災害復旧工事請負契約の締結	栄城・田島特定建設工事共同企業体	
	55	専決処分（国民健康保険税条例の改正）		
令和5年度補正予算	56	専決処分（一般会計補正予算（第1号））		全会一致で承認

賛否が分かれた議案等の採決結果

賛成：○ 反対：● 退席：退 欠席：欠

会派等	自由民主党													緑橋自民				公明党				ネットワーク佐賀				自民清流				さ	市	佐			
氏 名	福井章司	川副龍之介	西岡義広	嘉村弘和	千綿正明	江頭弘美	堤正之	重松徹	松永幹哉	永渕史孝	宮崎健	江原新子	川崎健二	稲葉嵩広	山口弘展	実松尊信	黒田利人	中野茂康	川原田裕明	村岡卓	中村宏志	野中宣明	中島妙子	山田誠一郎	松永憲明	久米勝也	富永明美	江口善己	藤田佳典	平原嘉徳	西岡真一	御厨洋行	白倉和子	山下明子	諸富八千代
第44号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○
第55号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○
佐賀駐屯地（仮称）の設置及び運営に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○

さ…さが未来 市…市民共同 佐…佐賀みのりの会
（重田音彦議員は議長のため、採決に加わっていません）

令和4年度の政務活動費の実績を7月10日から公開しています

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として会派（準会派を含む）に交付しています（令和4年度約1,680万円）。佐賀市議会ホームページに過去5年間分の実績関係書類を自主公開しています。トップページにある右側バナー「政務活動費」をクリックしてください。





一般会計補正予算中 総合交通対策事業

(質疑) 事業の内容に資料の作成とあるが、この資料作成の内容と目的は。

(答弁) 観光案内所などに設置している佐賀市バス路線マップについて、外国語版のデータを作成する。作成する言語は、英語、韓国語、中国語の3言語を予定している。このことで路線バスを外国人旅行者の移動手段として、認知向上を図り、市内の観光地などへの移動に役立ててもらい、利用促進にもつなげたい。

(質疑) 外国人向けのガイドは、どの言語に対応する必要があるかのリサーチは行ったのか。また、在留外国人の状況は調査したのか。

(答弁) 言語の決定には、佐賀市を訪れる外国人旅行者の国籍と宿泊者の数を最も重視した。その統計では、中国、韓国、台湾、香港からの旅行者が上位を占めている。なお、本市内の在留外国人の国籍の内訳は、ベトナムが一番多く、次いで中国、フィリピン、ネパール、韓国の順と把握している。

(質疑) 実際に住んで生活している外国籍の方々に対応しなくていいのか。

(答弁) 在留外国人も含めた市民の移動手段を確保するとともに、地域公共交通に不可欠なバスの利用促進を図ることは、本市の交通政策上重要な使命であると考えている。そこで、ベトナム語を含めた他の言語の作成に関しては、今回の事業とは別に今後検討したい。

一般会計補正予算中 自治公民館空調機等省エネルギー化促進事業

(質疑) この事業の募集方法はどのようなのか。

(答弁) 補助対象が自治会であることから、自治会協議会を通じて、各单位自治会長会への周知や校区公民館へのチラシ設置などを考えている。

(質疑) 国の交付金を財源としているが、交付金が打ち切られたら事業も終わるのか。こういう継続性のあるべき事業については、今後もやっていくべきではないか。

(答弁) 次年度以降も既存の制度を見直して、対応できるようにしていきたい。

一般会計補正予算中 電子地域振興券発行事業

(質疑) この事業の内容はどういったものなのか。

(答弁) スマートフォンに佐賀市公式スーパーアプリをダウンロードし、マイナンバーカードを使ったID登録を行っていただいた市民の方々に対し、電子地域振興券2,500円分のポイントを最大4万名に付与する。

(質疑) マイナンバー登録を必須条件とした理由は何なのか。また、個人情報流出の危険性はないのか。

(答弁) マイナンバーカードは住民基本台帳と連動して、ICチップ内の氏名などの4情報が最新の状態で確認できるため。個人情報流出の原因は人為的なミスやシステムの不備による情報のひも付けの問題である。今回の事業は4情報の確認のみを行い情報のひも付けは行わないため、危険性はないと考える。

一般会計補正予算中 DX推進支援モデル事業

(質疑) 昨年度の事業概要、現在までの経過、成果の説明を。

(答弁) 市内企業のDX先進事例を創出し、他企業に波及させることにより、市内企業全体のDX推進を図ることを目的に、昨年度から新規事業として取り組んでいる。昨年度に3社を選定し、社員のDXに関する意識の醸成や課題の洗い出しなどを行った。

(質疑) この事業自体がその成功事例を作るためのモデル事業と理解している。市がしっかりと舵取りをする必要があると思うが、途中経過の把握やチェックはどのようなのか。

(答弁) 中小企業が様々な課題を解消しつつ、DXを成功させるためには、単なるシステムや機器導入による業務の効率化にとどまらず、その先に何を果たしたいのか、経営者自らが戦略を明確に持ち、社内が一体となって取り組むことが最も重要と考えている。支援コンサル事業者やデジタルツールなども活用しながら、改革にチャレンジしていける環境を整えるとともに、取組事例を市内企業にも共有しながら、DXを推進したいと考えている中小企業を、この事業でしっかりとサポートしたいと考えている。

総務

一般会計補正予算中、DX推進経費

〔質問〕DX推進は、いろいろな部署にまたがっているが、どのように連携をとっているのか。スマートシティ構想を進める上でDX推進課が全体的な把握をし、指導的役割を担う必要があるのではないかと。

〔答弁〕DX推進課は庁内外でDX関連業務について情報を共有し、必要に応じて知見の提供や意見を述べている。スマートシティの実現に向けて、DX推進課が主体となって、佐賀市としてどのようなDXを推進していくのか考え方を整理しながら、市全体で進めていきたい。

〔意見〕スーパーアプリも、結構難しく感じる部分がある。関係部署としっかりと連携をとって、市民目線で分かりやすいものにしていただきたい。

同予算中、自治公民館空調機等省エネルギー化促進事業

〔質問〕既存のエアコンや照明器具を省エネ機器に入れ替える場合の費用を補助することだが、工事費や処分費は含まれるのか。また、コインタイマーの設置費用は含まれるのか。

〔答弁〕工事費や処分費は含まれる。空調機本体の工事費を想定しているため、コインタイマーの設置費用は含まれない。

〔質問〕申請金額が予算に達すれば受付を終了することだが、申し込みが多ければ補正予算を組むなどして対応すべきでは。

〔答弁〕問い合わせを含んだ今までの実績の倍の件数を見込んで計画しているが、応募の状況を見ながら検討したい。



健康運動センター災害復旧工事請負契約の締結について

〔質問〕入札がジョイントベンチャー（JV）の1者のみだが、何らかの条件があったのか。

〔答弁〕予定価格が1億円を超える管工事であったため、佐賀県の建設工事共同企業体取扱要領を準用し、確実かつ安定した技術力を伴った工事の履行が見込めるJVを資格要件とした。

〔審査結果〕全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

福祉教育

佐賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

〔質問〕改正後に限度額超過世帯となる被保険者数は。

〔答弁〕改正後の限度額超過世帯被保険者数は2516人。なお、軽減対象被保険者数は2万3438人で、改正前と比較し306人の増加となる。

〔質問〕専決処分となった理由は。

〔答弁〕国による地方税法等改正の法律および政令の公布日が3月31日で施行日が4月1日であったため、議会を招集する時間的余裕がないと判断したもの。税

常任委員会

関係の改正については市長会等を通じて、地方議会での議論の時間や住民への周知期間が十分確保されるように、改正の時期について配慮の要望をしている。

一般会計補正予算中、新型コロナウイルスワクチン接種経費

〔質問〕接種費用の負担は。

〔答弁〕今年度は、無料となる。

〔質問〕5月8日から行われている春開始接種の状況は。

〔答弁〕6月25日までで約2万9000人が接種をされている。なお、8月31日までで5万人の接種を予定している。

〔質問〕新型コロナウイルスに感染した人もワクチン接種は可能か。ワクチン接種に関するメッセージを市からも発信すべきでは。

〔答弁〕感染後のワクチン接種については、年齢や本人の体調などもあるため、医師と相談のうえ接種の判断をしてほしいと伝えている。市のホームページなど、工夫しながら情報を発信していきたい。

一般会計繰越明許費繰越計算書の報告中、保育所等送迎用バス安全装置導入支援事業

〔質問〕バス安全装置の設置率について、

他自治体と比べての状況は。

〔答弁〕7月9日までに全体の80%の設置を見込んでいる。設置率全国1位の石川県が77.9%であるため、市の設置状況は高い水準になると認識している。



〔審査結果〕全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

経済産業

一般会計補正予算中、米政策 推進支援事業

〔質問〕 土壌診断の件数が増えていないが、利用しやすい体制を整えるべきではないか。

〔答弁〕 土壌診断できる機関の情報等を、農家に提供していきたい。

〔質問〕 市が把握している農業の問題点について、市の政策として国の事業と併せて実施し解消すべきではないか。

〔答弁〕 佐賀市の農業には全国統一的な技術とは別に地域性があるため、県と連携し問題点を補いたい。

建設環境

一般会計

繰越明許費繰越計算書の報告

〔意見〕 繰越しの件数が多くなったと感じる。事業の年度内完了の見込みがあったから当初予算に計上したのでは。基本的に、単年度予算での事業は、単年度で完了するものだ。相手方との調整等に時間を要した等の事情については、理解できないわけではない。だが、本来であれば予算計上する前に、ある程度の予測できうる懸念事項を解消しておけば、当初予算時のそのままの額を丸1年繰越す事

同予算中、DX導入支援事業費 補助金

〔質問〕 市内の企業のDXの体制がどういう問題を抱えて、どういう状況に置かれているか調査をしているのか。

〔答弁〕 DXに関して事業者や金融機関にヒアリングを実施しており、課題意識は非常に高いと認識している。

〔質問〕 補助率を100%としているが、全額の補助が本当に必要なのか。

〔答弁〕 国の交付金が活用できることを前提としており、計画策定段階では費用

常任委員会

業が出たりはしなかった。特定の部局に限ったことではないが、単年度で事業を完了できるよう、今後、注意をしていたきたい。

市道路線の認定について

〔質問〕 野口2号線と野口3号線の隣接区画はともに10区画という説明だったが、2本の路線の間に5区画ある。この5区画は両路線の隣接区画として重複して数えているのか。

〔答弁〕 両路線に接道している5区画は、それぞれの隣接区画として重複して数え

対効果が分からず不安が大きい経営者が多い。最初の時点では手厚い補助が必要と考える。

〔質問〕 本市の企業数に対して募集枠10社は少な過ぎる。DX支援において、地方都市の中では

佐賀市は遅れていると感じるがどうか。

〔答弁〕 ベンダーの少なさ等、支援体制が大きな課題である。DXを中長期的に



進めるには、支援コンサルタントの掘り起こしや事業者内での人材育成が重要であると考えている。

〔質問〕 単発の支援ではなく、DX推進を継続できる支援策を講ずるのが本来の在り方ではないか。

〔答弁〕 持続可能な支援策を検討し、他機関とも協働しながら、市内の事業者と知見を共有しつつ事業を進めたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

佐賀市廃棄物の減量推進及び適 正処理等に関する条例の一部を 改正する条例

〔質問〕 諸富町と三瀬地区のペットボトル用の指定ごみ袋の大きさについて、今まで大だったのが、今後は中と極小に変更となる。ペットボトルごみは多いと思うが、大を廃止する理由

〔答弁〕 今回の改定で



は、諸富町と三瀬地区以外の佐賀市の区域の指定袋に統一するもので、中と極小の2種類となる。

一般会計補正予算中、藻類産業 集積化事業

〔質問〕 国からの交付金が終了する2027年度以降の研究費はどうするのか。

〔答弁〕 文科省の交付金等を活用していただくことも含めて、佐賀大学と今後とも協議を継続していく。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

一般質問

「市政 ここが聞きたい」



議会動画配信

6月20日(火)

チャットGPTに 真剣な対応を!!

福井 章司 (自由民主党)



①市は昨年11月に公開された対話型のAIであるチャットGPTについてのAIであるチャットGPTについてどのように捉えているか②全国の各自治体がこの生成AIの取り扱いを検討中だが、市はどのように検討しているか③今後、市はチャットGPTを導入する予定はあるか。

答弁

①人口減少に伴い不足する人材を数や質の両面において補うことができ、業務時間の短縮や質の向上が期待できる。一方、機能、品質、安全性、倫理的な問題、権利の侵害などが懸念される②本年5月に生成AIの利活用が見込まれる業務を調査し、各部署で想定される活用事例を把握した。若手職員で構成するデジタルサービス創出検討部会で研究する予定である③導入に向けてスピード感を持って前向きに検討していく。

◆その他◆アフターコロナ社会の取り組みは／交通安全対策について



自治会への 加入促進を!

山口 弘展 (緑橋市民)



①近年の加入状況とその要因は②未加入世帯に対しごみステーションの使用に制限をかけるなどの制約を、どのように考えるか③こういった問題を自治会長任せにせず、親身になって対応すべきだと思うが④今後、加入促進に向けてどう対応していくのか。

答弁

①令和元年度以降の自治会の加入世帯数はほぼ横ばいだが、加入率は減少している。増加した単身世帯の加入が進まないことが要因と考える②自治会の判断によるが、まずは加入への理解を求めるよう助言している③法的根拠や近年の訴訟の事例等も踏まえ、未加入世帯と自治会が解決策を模索できるよう、双方に寄り添った助言に努めたい④自治会協議会と連携しながら、加入促進に係る事例を調査し、実施に向けて検討したい。

◆その他◆都市戦略における緑化推進について／企業誘致について



新しい図書館の 基本構想をひもとく

永渕 史孝 (自由民主党)



①今後の方針は②構想は図書館内部のみなのか③書別ではないエリア構築が必要では④設置物の充実の考えは⑤漫画コーナーを充実しては⑥自動車図書館の駅訪問の結果は⑦自動車図書館サービス拡大を構想に入れる考えは⑧開館時間の変更の可能性は。

答弁

①訪れる市民が自由にのびのびと気持ちの良い時間を過ごせる場所づくりを目指す②外観等の改修も課題③利用者の利便性や満足度が向上する形で検討する④ゆつくり気持ちの良い時間を過ごすためのツールとして重要⑤さが未来発見塾の高校生に問いかける⑥昨年度3回実施。PR効果が高い⑦情報発信として新たな図書館利用者の獲得に繋がる可能性はある⑧効率的な運営手法や運営体制等の検討にあわせて考える。

◆その他◆佐賀市公式スーパアプリ／神野公園再整備／市の情報発信強化



6月20日(火)

公的な発送物に

音声コードの活用を

なかしま たえこ
中島 妙子 (公明党)



視覚障がい者に公的な情報が届きにくい現状がある。①音声コードとはどのようなものか②情報取得の手段を一つでも増やすためにも、上下水道だより等で導入している音声コードを活用すべき③音声コードの周知の方法は④今後の取り組みは。

答弁 ①文字情報を二次元コードに変換したもの。専用アプリ等で音声に変換できる②音声による情報取得の機会の確保は大変重要で、音声コードの普及は必要である。導入できるところから検討する③音声での周知が有効と考えており、ラジオやテレビ等も活用していく④職員研修等で障がいの特性に応じた情報発信ができるよう理解を深める。全市民が市からの情報を取得できるよう取り組む。

◆その他◆若者に対する支援について／マイボトル等を利用できる給水スポットの設置について



音声コード活用例 (上下水道だより)

6月21日(水)

発達障がいに対する

市長の見解は

えがしら ひろみ
江頭 弘美 (自由民主党)



発達障がい児の増加傾向が続いている。社会全体で発達障がいに対する理解が進み、子育て施設職員の知識や対応能力等が向上しており、関係機関に相談するケースが増えているため、増加するのは当然かもしれない。深刻な社会現象といえるが、市長の見解は。

答弁 これからは多様性の時代であり、さまざまな特性を持つ子どもたちが、自分らしく輝き受け入れられる環境をつくっていくことが大切である。特に、発達障がい児に対する支援の充実には力を入れるべきと考えており、子どもたちが互いに尊重され、自分らしく自立した生活を送れるように、乳幼児期から成人期に至るまで切れ目のない支援の充実を図っている。今後も子育てがしやすく安心して暮らし続けられるまちづくりに取り組む。

◆その他◆松原公園整備事業について／中核市への移行について



バルーンのまち

佐賀市を未来へ！

とみなが あけみ (ネットワーク)
富永 明美 (佐賀)



①多くの方々に愛され支えられて今がある。この先、未来へのビジョンや後世への継承を考えると、これからの支援のあり方も検討する必要があると思うが②県外への認知度向上の為、佐賀バルーンナイズと併せてのPRは相乗効果も期待できると考えるが。

答弁 ①佐賀市のバルーンのさらなる発展を目指さなければ、いつの間にか停滞・衰退してしまうことも考えられる。バルーンを活用した様々な取り組みを積み重ねていくことが、重要と考えている②バルーンナイズの活躍は、佐賀市のバルーンのPRにつながると考えている。バルーンフェスタ等のイベントに合わせ、選手と触れ合う機会を設けるなど、相乗効果を狙った取り組みを行いたい。

◆その他◆保育施設における3歳児以上の主食持参について／市民芸術祭について



市民に開かれた

市政とは

もろどみや ちよ (佐賀みのり)
諸富 八千代 (の会)



投票率の低下に危機感があり、市民の声を聞くことが政治参画につながると思う。①昨年開催の市長と円卓トークのねらいと今年の予定は②パパ達の育児座談会での声をどう生かすか③パブリックコメントの周知と活用は④市長の考える市民に開かれた市政とは。

答弁 ①テーマを決めて市長自らの思いや考えを示し、参加者が政策への理解を深め、同じ目線で意見交換できるよう工夫した。今年度も4回実施予定でテーマを選定中②デジタルツールを活用した情報発信や、悩みを共有できる居場所づくりなどを進めたい③市報と市ホームページで広報し、提出された意見等を実施機関で検討して意思決定を行う④自身の思いや考えを発信するともに、市民の生の声を大切にして政策を実行すること。

◆その他◆図書館政策について／統一地方選挙を振り返って



6月21日(水)

神野公園の整備 充実を！

堤 正之 まさとけ
（自由民主党）



神野公園は整備検討中であるが①子ども遊園地は低年齢の子どものために整備充実すべきでは。また、隣接する交通公園も老朽化しており整備対象とすべきでは②現状でも駐車場が不足しており、グリーコ工場跡地の一部など新たな駐車場の確保に取り組むべきでは。

答弁

①子ども遊園地の敷地の拡充や交通公園の在り方などについては、再整備検討委員会の議論の中で一体的に検討したい②まずは地権者である江崎グリコの意向を尊重すべきと考えている。一方で、この場所の重要性から、部分的な活用について相談できないか引き続き情報収集等を行いたい。同時に、より分かりやすい駐車場案内など、駐車場の利便性改善策も含めて検討していきたい。

◆その他◆農地法の一部改正／管理不全

空き家の固定資産税軽減措置対象除外／幼児保育施設の充足状況



6月22日(木)

教職員の働き方 改革まったなし!!

松永 憲明 けんめい
（ネットワーク佐賀）



①「学校における働き方改革の取組推進について（通知）」の実施状況と今後の指導は②メンタルヘルス対策のため教職員専用のカウンセラー配置を求める。

答弁

①当該通知は各校長宛に送付し、教員会議等で討議や教員へ配布・回覧するようにしているが、配布・回覧や討議のいずれも行わなかった学校もあり問題と捉えている。今後も働き方改革を進めるよう指導していく②全校対象の健康相談を毎月実施しているため、直ちにカウンセラーの配置は考えていないが、専門的な知識等を持つ教職員向けのカウンセラー配置は望ましい。

まずは国、県に対し、配置時間増を要望していく。

◆その他◆教員や指導員等の欠員の

実態は



猛暑時のクーリング
シエルトー

山下 明子 あきこ
（市民共同）



猛暑の中でも、節約のためや加齢による体感麻痺で暑さを感じないため空調機を使用しない場合もある。①熱中症による救急搬送の実態は②熱中症を防ぐため、身近な公共施設や商業施設などを猛暑時に避難できるクーリングシエルトーと位置付ける考えは。

答弁

①令和4年は特に猛暑日が多く救急搬送の件数が急増した。年齢区分別では高齢者が半数以上、発生場所は住居が最も多く、発生時間は13時がピークである②法の改正で国は冷房を備えた公共施設、商業施設等をクーリングシエルトーとして活用するとしており、令和6年夏の運用開始に向け準備している。情報を共有し、各部署でできる取り組みを検討する必要があると考える。

◆その他◆マイナ

ンバー保険証／医療的ケア児・者の災害時の支援／サンライズパーク開設後の現状と課題



有明海漁場改善と
ノリ消費拡大を!!

山田誠一郎 まこと
（ネットワーク佐賀）



①有明海の漁場改善のための市と県の事業は②ノリ不作による漁業者の経営に対する支援は③ノリが不作となった時の漁業者への支援をどう考えているのか④ノリの消費拡大のための現在の活動は。

答弁

①本市では2か所のみお筋をしゅんせつする事業を実施、県ではサルボウガイの稚貝の放流等が行われ、今後は海底耕うんの実施が計画されている②価格高騰、栄養塩低下対策の経費および漁業者の借り入れへの支援を実施した③どのような支援が必要か関係機関と協議し検討していく④佐賀市水産業振興協議会でバルーンフェスタへの出展等様々な活動を行っており、今年度は妊婦を対象とした新ノリ試食会の開催を検討している。その他、都市圏でのPR活動等広報に努めている。

◆その他◆有害鳥獣

対策について



6月22日(木)

人に優しい移動

手段の環境整備を！



村岡 卓むらおか たくし

卓たくし (公明党)



市は障がい者に対する移動手段のサービスに数多く取り組まれている。その中でタクシー利用助成券の交付を行っているが①実施の経緯と助成金額の推移は②利用者の声は③これまで助成額の増額を検討したか④今後の助成額増額の考えは。

答弁

①生活圏の拡大および社会参加の促進を図り福祉の増進に寄与することを目的に旧佐賀市で昭和62年10月から開始。開始時から年一万円②助成の増額③平成27年に他市の状況を調査し増額を検討。さらに検討を重ね平成30年、約一万四千元（初乗り料金×24枚）に増額と現行（二百円×50枚）の場合でアンケートを実施。約七割が現行制度がよいとの回答で増額には至らなかった④前回調査から年数も経過し社会情勢も変化しており、方法を含め再調査を検討したい。

◆その他◆川を愛する週間について



6月23日(金)

観光マーケティング

グの検討を！



稲葉 高広いなば たかひろ

高広たかひろ (自由民主党)



観光産業は飲食や宿泊、お土産の購入などさまざまな分野で消費が行われる裾野が広い産業であり、本産業の振興は本市経済に好影響をもたらす。第三次佐賀市総合計画策定に向けて観光マーケティングを行い、戦略的なビジョン策定を行うべきと考えるがどうか。

答弁

次期総合計画の成果目標の設定にあたっては、本市の観光の強みと弱みを知り、「売り」とすべきポイントを見出して、目指すべき方向性を明確にすることが重要と考えている。そのためには、データの収集および分析を行うとともに、観光客の動向や求められるニーズを的確に把握しながら、本市が目指すべき成果目標を設定したい。

◆その他◆SAGAスマート街なかプロジェクトについて



指導員配置の考え方

方を問う



御厨 洋行みくりや ひろゆき

洋行ひろゆき (自由民主党)



放課後児童クラブにおいて悪天候などで早めの開所が必要、また下所後に児童の所在確認が取れない場合など、校区内在住の指導員であれば対応が可能。また指導員を心のよりどころにしている児童も多い。指導員の配置換えは極力するべきではないと考えるが。

答弁

経験豊富な指導員が別の児童クラブに配置されることにより、これまで蓄積されたノウハウや経験が新たな配属先で生かされ、各指導員のスキルアップに寄与するとともに、児童クラブの運営全体も活性化していくといったメリットもあると考える。また、配置換えを行う場合には、指導員に対してあらかじめ聞き取りを行ったうえで、配属先を決めている。より良い児童クラブの運営を目指し、今後適切に指導員の配置を行いたい。

◆その他◆市営住宅について



超高齢化社会の中

新たな支援を



中村 宏志なかむら ひろし

宏志ひろし (公明党)



①高齢者の見守りは、企業団体等との新たな連携・推進を②防犯意識向上の取り組みは③高齢者の生活支援に民間企業団体等の活力を取り入れるべきでは④高齢化に伴い市の窓口において新たな取り組みを行うべきでは⑤高齢者の熱中症予防に関する取り組みを！

答弁

①国の制度や市の事業を活用した支援を継続しつつ、先進的な事例について注視していきたい②無防備、無関心による犯罪被害を防ぐため、おたつしや本舗での相談対応や民生委員、自治会長への情報発信、生活安全課と連携した啓発等を行っている③今後公的サービスでの対応が難しくなると考えられるため、民間企業を含め地域の取り組みを広げることが必要④会話を文字化するアプリの活用などを予定している⑤保健師の健康講話、事業所で行う介護予防教室などで注意喚起を行っている。



6月23日（金）

外国語教育の充実に向けて

藤田 佳典（ネットワフ）



①聴覚理解力と読解力の格差についてどう考えるか②A・L・Tの授業・生徒への関わり方はどうか③外国人児童・生徒の受け入れにおける支援体制はどうか④多言語学習についてどう考えるか⑤教育交流授業の内容・魅力をより広く知らせるべきではないか。

答弁

①リスニングやスピーキングの力を育成するために、会話を重視した授業が重要と考えている②英語の音声・表現指導のほか、自国の文化の紹介やアクティビティを進める役割等を担う③習熟度に応じた担当講師等による日本語指導のほか、巡回指導も行い、佐賀市全域で日本語指導が受けられる体制を整えている。また、教室内に翻訳アプリを搭載したタブレットを配置④国際的に活躍する人材育成のためには、大変重要と考えている⑤周知方法に関して、関係者等と意見交換し、検討したい。



6月26日（月）

小中一貫校思斉館前の道路整備は

中野 茂康（緑橋自民）



県道外環状線、中副交差点より沿岸道路久保田インターまでの道路拡張計画の図面の提示から10年目。歩道の幅が1.5mの所もあり児童・生徒達は危険な状況で通学している。工事の進まない理由は、今後の事業内容や計画はどうなっているのか。

答弁

用地交渉や補償物件の移転、旧久保田支所の移転に関する調整、軟弱地盤対策、整備区間内に多く存在する地下埋設管についての関係機関との協議や移設作業に時間を要した。また、道路を横断する函渠や水路の付け替えなどの施工においては、迂回路による通行を確保し、段階的に実施する必要があった。久保田インターから久富交差点までの具体的な整備計画は県から示されていない。児童・生徒の通学などの安全のため、事業主体の佐賀県に、早期完成を働きかけていきたい。



◆その他◆

防災行政について

外来魚から佐賀市を守れ！

宮崎 健（自由民主党）



①先日、高校生が佐賀市のクリークでアロワナを捕獲した記事が新聞に掲載されたが、外来魚の生息数は増えているのか②捕獲再捕獲法を用いて、正確な生息数を把握すべきと思うが③ペットショップ等を通じて、外来魚の放流禁止を啓発すべきではないか。

答弁

①市内には外来魚が現在6種類生息していると推測されるが、市内各地に生息している現状や、旺盛な繁殖力を鑑みると、生息数は増加していると思われる②人員体制や調査期間等を考慮すると生息数の把握までは難しいが、今後、市民生活に影響を及ぼすなど、調査の必要が生じた場合は、調査手法を含めて改めて検討したい③販売店から購入者への啓発があれば効果的である。保健所とも連携しながら、ペットショップ等への周知を行いたい。



◆その他◆

地域経済の活性化について

子どもたちの通学路の安全対策

重松 徹（自由民主党）



駐屯地工事については登校時間帯は運搬を全て休止されているが子どもが交通事故に遭うリスクは登校時よりも下校時の方が約2.5倍多いと言われている。子どもの安全を確保するためには運搬経路に優先的に防護柵又は仮設ガードレール等を設置すべきでは。

答弁

防衛省に対して必要な対策等を求めている、子どもの安全確保については、要請書で通勤・通学時間における土砂および資材の運搬については行わないことを言及している。また、防衛省が主体となり関係機関で構成された意見交換の場を設置した上で、安全対策等の協議を行うことを求めている、子どもの通学時の安全が十分に確保できるよう教育委員会や学校とも連携を取りながら、引き続き適切な対応を意見交換の場等でも求めたい。



◆その他◆

小・中学校における学校プールの在り方について

6月26日(月)

市民の選挙運動参加に制限はあるか

にしおか しんいち
西岡 真一 (自民清流)



選挙運動に多くの市民が参加することで、選挙の機運が盛り上がり、市民の投票行動が促され、結果的に投票率向上につながると思う。何かの役職を市などから委嘱された人でも、その職務上の地位を利用するのではないければ、選挙運動に参加できるのではないかな。

答弁 満18歳以上の有権者であれば、選挙運動期間中は自由に選挙運動をすることが出来る。例外的に、公職選挙法では、例えば県や市の部長が、職務上で関係する団体に特定の候補者を推薦するよう勧めるなど、公務員等の地位を利用しての選挙運動を禁止している。それぞれ職務に関係する法令等に規定がある場合等は、その行為の態様、状況等を総合的に判断する必要があるため、個々の事例については、それぞれの実情に基づき判断する必要がある。

◆その他◆排水対策基本計画について



6月27日(火)

環有明海観光連合との連携は

かわせりゅうのすけ
川副龍之介 (自由民主党)



①令和4年6月に発足した環有明海観光連合の目的と具体的な活動内容は②観光振興に力を入れて佐賀市は観光連合に何を期待しているのか③B1に昇格するブルーナーズのブースターの拡大を促すため観光連合等に協力を求めているのか。

答弁 ①有明海周辺地域の観光協会が連携し、広域で観光事業の普及振興を図ることを目的としている。マルシェを開催したほか、有明海沿岸のラムサール条約登録湿地の清掃活動を予定しており、今後、アフターコロナを見据え、活動範囲を広げていく見込み②観光は広域で取り組むと効果が高いと考えるため、情報共有や連携をしていきたい③県域を越えた交流の場でのPRは大きな効果が見込める。今後効果的な取り組みを検討していきたい。

◆その他◆SAGAアリーナの来場対策について



市民の声を市政に生かす方策は?

かわさき けんじ
川崎 健二 (自由民主党)



広く市民の声を市政に生かすことは大切なことと考える。①市民の意見を聴く制度としてどのようなものがあるか②市政への提言・市政モニターの利用状況は③パブリックコメントの現状と問題点は④スーパリアプリ等のデジタルツールの今後の活用は。

答弁 ①提言箱等での「市政への提言」、市民モニターへアンケートを行う「インターネット市政モニター制度」、政策等策定の際市民の意見を聞く「パブリックコメント手続」等の3制度②R4年度の実績は提言359件、モニターは7件の実施で回答率23%③過去3カ年の意見は20件中5件。市報での早めの広報は困難だが市HPで適宜告知している。今後早期に周知したい④ラインや市報等を活用し適切に発信していく。

◆その他◆空き家の整備と活用を／携帯・スマホ等から子どもを守る



自衛隊佐賀駐屯地の建設を検証する

えぐち よしみ
江口 善己 (ネットワーク佐賀)



①防衛省と市の合意事項に乖離している部分はないか②市長の木更津駐屯地視察の感想は③建設工事に特化した説明会開催を防衛省に促す必要はないのか④建設工事に伴う騒音や振動への協議体制はどうなっているか⑤隊員宿舎建設による地域への影響は。

答弁 ①漁協の協議会臨時総会や理事会の決定は組織として重いものであり、市はその判断を尊重したい②今回の視察で確認した運用状況等は今後市政の参考にしたい。運用面に関しては今後も情報提供を求めたい③防衛省からは個別の工事説明会に対応することであり、市民に対する丁寧な説明を求めたい④防衛省が主体となり、関係市町、道路管理者、警察等で構成された意見交換の場が必要と考える⑤隊員宿舎が南川副地区に整備されれば、周辺エリアの振興にもつながると考える。



6月27日(火)

市有林の利用促進を

黒田 利人（緑橋昌民）



市有林には、現在木材として利用できる杉・ヒノキがあると聞く。今後その木材を使つての公共施設の建築が望まれる。よつて今後の市有林の伐採計画・利用計画を長期的に立てる必要があるが、市の考えは。

答弁 現在、公共施設整備の際には市産木材を中心に使用されているが、市有林から切り出された木材を建材として利用するには、切出しから利用するまで2年ほどかかる。そのため、中長期的な建築計画を把握する必要がありと考へている。公共施設の中長期的な整備計画に合わせた市有林の整備計画についても検討し、市有林から産出される木材を含め、市産木材の有効活用を努めたい。

◆その他◆鈴木新

副市長に所見を聞く／小・中学校体育館に空調設備設置を



6月28日(水)

SAGAアリーナ周辺の駐車場不足

平原 嘉徳（自民清流）



SAGAアリーナの駐車場不足については、建設前から不安視されていた。①駐車場に関して、県とどのような協議をしてきたか②オープン後混雑は見られなかったのか③駐車台数不足について、市の見解は④立体駐車場を造るべきと県に進言すべきではないのか。

答弁 ①県との協議は、平成30年頃から開始している。当時は施設利用者以外の駐車や長時間の駐車が課題であった②付近の国道では大きな交通渋滞は見られず、バスもスムーズに運行していたが、高架下の交差点では一時的に混雑した時間帯もあった③基本的に利用者の駐車場がないため、公共交通機関の利用促進や歩くライフスタイルの推進などに取り組んでいる④今後も県と市、指定管理者が情報の共有と協議をしていきたい。立体駐車場を造るべきという提言については、県に伝えたい。



視察報告

総務委員会

視察者8名（宮崎、富永、藤田、中村、重松、堤、江頭、黒田）

5月9日(火)

室蘭港湾事務所（北海道室蘭市）

◎広域防災フロートについて

広域防災フロート（浮体式防災基地）は、平常時は工事資材の台船などとして利用し、大規模地震などの災害時には住民の避難や緊急物資の輸送など、災害復旧活動を支援する施設である。ヘリポートを備えており、船舶の接岸や復旧支援用の車両の乗り入れが可能で、防災フロートは、東京湾、伊勢湾、大阪湾にもあるが、外洋に出られるのは、室蘭だけ。建設費は約11億円で、維持管理費は年間約500万円。

平成12年3月の有珠山噴火を契機に、平成15年12月に室蘭市が建設。平成22年7月に国有化され、同年9月に室蘭市と北海道開発局が締結した「災害時における広域防災フロートの被災地への派遣に関する協定」において迅速な派遣を可能とする体制が整備された。平成23年3月11日東日本大震災では被災地支援のため、岩手県大船渡港、福島県相馬港に支援物資を輸送し、引き続き相馬港に在港して10月まで臨時の作業船係留施設として活用された。

広域防災フロートを派遣する際には、海上保安部、運輸支局、室蘭市等の関係機関の連携協力が必要のため、協議会を設置し、曳船手配や物資・資機材

5月10日(水)

北海道神宮（北海道札幌市）

◎島義勇公の顕彰の取り組みについて

北海道神宮は、札幌市中央区に所在し、明治天皇が北海道に「開拓三神」を祀るよう詔を出したのが始まりで、当時、札幌市街の設計に着手した開拓判官・島義勇公により、三方を山に囲まれ一方は平野に開けている円山の地に社殿を造営することが決められた。社殿前の一角には島義勇公の銅像が建立されている。また、境内には開拓功労者を祀る開拓神社、隣接する円山公園には島判官紀功碑がある。

島義勇公は、「北海道開拓の父」と称えられ道民に親しまれ、北海道神宮では、その業績をたたえて、命日の4月13日には毎年、顕彰祭が開かれている。顕彰会では、島の出身地である佐賀との交流だけでなく、初代知事として八郎淵をはじめとした干拓事業に貢献したことから秋田県とも盛んに交流が行われている。来年は没後150年にあたるため、神宮では盛大な祭りが予定されており、また、講演会等の開催も計画されている。

の調達運搬などの実施計画を協議するとともに、派遣出動に関する各種訓練を実施している。令和元年には、室蘭市の市民参加の防災訓練でも活用された。



室蘭港湾事務所視察



北海道神宮視察

経済産業委員会

視察者9名

（実松、江原、中島、江口、稲葉、御厨、松永幹哉、千綿、中野）

5月17日（水）

福島ロボットテストフィールド（福島県南相馬市）

◎福島イノベーション・コースト構想について

福島イノベーション・コースト構想は、平成23年3月に発生した東日本大震災および原子力災害によって大きな打撃を受けた福島県の浜通り地域等の産業や雇用を回復するために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトである。先端的な再生可能エネルギー・リサイクル技術の確立やICTやロボット技術等を活用した農林水産業の再生等の主要プロジェクトの具体化に加え、産業集積の実現、教育・人材育成、交流人口の拡大など構想の実現に向けた取り組みを進めている。

同構想に基づき整備された福島ロボットテストフィールド（RTF）は、無人航空機や災害対応ロボットといったフィールドロボットの一大開発実証拠点となっている。ロボット技術の各種環境試験が実施可能であり、研究者の活動拠点として研究室を備えている。

ロボット関連産業の育成・集積を推進しており、震災以降、福島県浜通り地域等に71社のロボット関連開



福島ロボットテストフィールド視察

視察報告

建設環境委員会

視察者8名

（永淵、久米、山田、平原、山口、川原田、嘉村、西岡義広）

5月17日（水）

広島県福山市

◎中央公園 Park PFI 事業について

福山市では、福山駅周辺エリアの再生が課題としてあり、平成30年に福山駅前再生ビジョンを策定した。福山駅南側にある中央公園をまちづくりの核の一つとし、官民連携によるにぎわい創出に向け、Park PFI（公募設置管理制度）を導入し、令和2年に異業種の地元企業6社からなるコンソーシアムを事業者を選定した。この事業では、公募対象施設であるガーデンレストラン整備、特定公園施設のあずまや、園路および植栽の整備、さらに公園を活用したイベント等を行っている。事業者が公園施設の設置や整備をする際に、市からの出資はなく、また、土地の使用料は市へ納めることとなっている。市の費用負担は、あずまやと樹木の整備後の買取費用で、予め価格面の条件を明示していたが、実際の整備費用よりも格段に安価となった。さらにその1/2は国の補助制度を活用した。整備された施設は、どれも公園全体の魅力を向上させるデザインとなっている。



福山市視察

今後は、地域の主体的な活動として事業の持続性が高まることや他のエリアへ事業が波及していくことを期待している。

5月18日（木）

京都府京都市

◎環境学習施設「さすてな京都」について

さすてな京都は、京都市南部クリーセンター（ごみ焼却施設）に環境学習施設として併設されている。京都市南部の横大路地域には、環境関連施設が多く立地し、主要幹線道路が集中しているが、地域住民の生活環境の改善が課題となっていた。平成19年3月、横大路地域の住民と京都市でまちづくり計画「伏見ルネッサンスプラン」を策定した。地域住民の要望として、「環境共生型都市・京都のシンボルゾーンとしての役割を果たす地区となるよう整備を進めてほしい」、「開かれた地区づくりと気軽に来訪できる空間づくりを」があり、環境学習施設であるさすてな京都を整備した。さすてな京都では、ごみ処理に要する大規模な施設を間近で見学することができ、見学ルートの各所にモニターやパネルが設置され、最先端の環境技術を学べるようになっていている。また、幅広い分野の学習プログラムでは、参加希望者の事前申込も多く、魅力溢れる環境学習の拠点となっている。



京都市視察

特別委員会

水害対策調査特別委員会

4月14日開催

〔現地視察〕佐賀市排水対策基本計画の「施設の新設・改良」の事業である、南百姓樋管ポンプ、八田江排水機場、戊辰川排水機場、尼寺雨水ポンプ場で現地視察を行い、市および県の担当者から現状の説明を受けた。その後庁舎で執行部との質疑応答を行った。

〔質問〕南百姓樋管ポンプについて、有明海の満潮時に大雨が降った場合も、集落側の水を早津江川にポンプ排水するのか。

〔回答〕水位上昇に反応して自動的にポンプで排水を行うが、満潮時は集落内から河川への自然排水ができないため、国にポンプ車の出動を要請する場合もある。



南百姓樋管ポンプ視察

京都府福知山市

6月6日（火）

行政視察

◎雨水貯留施設の整備、各戸の耐水化、雨水貯留設備の設置について

福知山市は、市街地が山地と由良川本川の間に挟まれた低平地に位置しており、地盤高が堤防高に比べ低いことや、宅地化、市街化の影響で流域内の保水力が低下したことから、水害が頻発している地域である。平成26年8月には、福知山市市街地を中心に観測以来最大の2日間で335mmもの集中的な降雨があり、甚大な浸水被害が発生した。

この被害を受け、福知山河川国道事務所と京都府、福知山市は、「由良川流域における総合的な治水対策協議会」を設立し、連携を強化し、総合的な治水対策を実施した。協議会は、国、府、市がそれぞれの役割を持って対策しており、福知山市の役割として、排水ポンプの増強や流域全体における貯留施設等の整備を行っている。

また、土のう、水のう、水中ポンプ等の購入に対し補助金を交付するなどの各戸、事業所等の耐水化や雨水タンクなどの雨水貯留設備設置者に対し補助金を交付するなど各戸貯留



福知山市視察

の促進などのソフト対策を実施している。

6月7日（水）

広島県広島市

◎ICTを活用した浸水対策施設運用支援システム、止水板の補助等について

広島市は、中心市街地が太田川のデルタ地帯に位置している。都市化の進展により空き地が減少したことで雨水の浸透力が低下し、雨水が一気に下水道管に流れ込むことになり、局所的な豪雨に対応できず浸水被害が発生している。

被害の解消に向けて、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備等の浸水対策を進めている。一方で、浸水対策施設の整備には相当の期間を要することから、浸水（内水）ハザードマップの作成・公表や止水板設置補助金の交付などのソフト対策も併せて行っている。

今回の視察では、雨水幹線の整備やマンホールポンプの設置などの浸水対策の概要や止水板設置補助金制度、浸水発生要因となる情報を活用して既存施設の能力を最大限生かした運転を行うためのICTを活用した浸水対策施設運用支援システムなどの説明を受けた。



広島市視察

佐賀市議会 9月定例会のお知らせ

9月1日（金）午前10時開会（予定）

- *会期日程等については、開会日に正式決定し、ホームページでお知らせします。
- *市内外のどなたでも傍聴することができます。車椅子での傍聴もできますし、文字情報モニターや補聴器もあります。
- *常任委員会や特別委員会も傍聴できますので、ぜひおいでください。

皆さんの声をお寄せください！

より分かりやすく、読みやすい議会だよりとするために、感想や要望など自由なご意見をお寄せください。郵送、FAX、またはメールでお願いします。



〔送付先〕

〒840-8501 佐賀市栄町1-1
佐賀市議会事務局
FAX: (0952) 25-5407
Email: gikai@city.saga.lg.jp

特別委員会

佐賀空港の自衛隊 駐屯地計画に関する 調査特別委員会

4月5日開催

〔現地視察〕 空港周辺に位置する2カ所の樋門を視察し、排水の現状を確認した。最も近いノリ養殖漁場までの距離は約200メートルと非常に近く、排水の水質管理が大変重要であることを再認識した。

行政視察

4月13日、14日

千葉県木更津市議会および陸上自衛隊木更津駐屯地を視察した。

木更津市議会では、木更津駐屯地に関する協議会の概要、オスプレイに関するこれまでの経過、木更津市が実施している駐屯地対策について説明を受けた。

陸上自衛隊木更津駐屯地では、オスプレイの概要および機体構造等に関する説明を受けた後、離発着訓練の様子を視察し、機体が発する騒音等の状況を体験した。



木更津駐屯地視察



木更津市議会視察

5月30日開催

〔参考人招致〕 駐屯地計画に関する対応状況等について、九州防衛局から説明を受けた。

〔参考人説明〕 4月20日の国造掘60センチ管理運営協議会の勉強会で、駐屯地整備に伴う補助事業に関することおよび騒音対策、排水対策について説明を実施した。5月15日に佐賀県有明海漁協の検討委員会、用地取得に関する考え方を説明した。5月18日に有明海漁協南川副支所と協定書を締結後、有明海漁協と駐屯地予定地の不動産売買契約を締結した。工事については、準備でき次第、土日祝日を含めて24時間体制で作業を実施する計画であり、交通安全対策として工事場所出入口に交通誘導員を配置して事故防止に努め、資材運搬時は経路を適時パトロールするとともに、排水対策として、工事区域内に降った雨水を仮設調整池に一次貯留し、濁水処理を行った後、流量を調整

して排水する計画である。

〔質問〕 用地取得に関し、地権者全員の同意は不要とのことだが、その根拠は。

〔答弁〕 駐屯地予定地の登記名義人である佐賀県有明海漁協と売買契約を締結しており、漁協内部の手続きについて問題はないと認識している。

〔質問〕 24時間体制で工事を行う計画だが、なぜか。

〔答弁〕 島しょ防衛における防衛能力の構築が喫緊の課題であり、駐屯地の早期開設が必要と考えている。他の駐屯地工事において、夜間に作業を実施した事例もあり、それを踏まえて作業を実施するが、地域住民への影響をできるだけ低減するよう努める。

〔質問〕 2月に市と防衛省で合意された事項の中に「工事期間を含めて周辺環境に十分な配慮を行う」とあるが、夜間に工事車両が頻繁に住宅付近を通行するのは、周辺環境への配慮が欠けており、夜間工事を減らす工夫をしつつ工事期間を再検討すべきではないか。

〔答弁〕工事車両は、関係法令を遵守して運用するとともに、できるだけ昼間に資材運搬を行い、周辺環境に影響が出ないよう対策を講じたい。

〔執行部説明〕4月11日に九州防衛局に対し、地域経済の発展と雇用の確保を促進するため要望を行った。5月17日に陸上自衛隊木更津駐屯地を視察し、オスプレイの運用状況等を確認した。防衛省との定期的な意見交換および情報共有の場の創設に向けて協議中であり、月1回程度定期的に開催予定である。

〔質問〕校区自治会等から住民説明会の開催を要望された場合、どう対応するか。

〔答弁〕防衛省に対し、説明会を開催するように求めている。

〔質問〕防衛省に対し、駐屯地計画全般に関する住民説明会を開催するよう再度求めるべきではないか。

〔答弁〕これまでに出されたさまざまな意見は、その都度防衛省に伝達しており、今後も市民に対し真摯な対応をするよう求めている。

佐賀駐屯地（仮称）の設置及び運営に関する意見書

意見書第 2 号

佐賀駐屯地（仮称）の設置及び運営に関する意見書

九州佐賀国際空港隣接地への自衛隊駐屯地の設置計画については、最初に防衛省から佐賀県及び佐賀市に対して、佐賀空港の自衛隊使用要請のあった平成 26 年 7 月から 8 年以上を経過した、昨年 11 月に佐賀県有明海漁業協同組合が佐賀県との間で締結された「佐賀空港建設に関する公害防止協定覚書付属資料」を変更し、「県は、佐賀空港を自衛隊と共用することができる」とする重い決断をされた。

これを受け、佐賀空港の立地自治体である本市においても、慎重な検討を重ねた結果、今年 2 月に、懸念される事項など 8 項目について、防衛省との合意確認をした上で、佐賀空港への自衛隊の受け入れをやむを得ないとの苦渋の判断がなされた。

その後、今年 5 月には、防衛省と整備予定地の地権者であった佐賀県有明海漁業協同組合との間で用地の売買が成立し、現在、駐屯地施設の整備にかかる工事が始まっている状況である。

佐賀駐屯地（仮称）の設置は、我が国の国防において重要であるのに加え、当該施設は、防災関連施設の機能も有しており、地域の防災力向上への貢献が望まれる。さらに本市においては、経済の面を初めとした地域の活性化に繋がることに期待する声も多い。

また、一方では、設置工事期間から設置後の運用における生活環境や事業活動等への影響を懸念する声もある。

これらのことに鑑み、佐賀駐屯地（仮称）の設置及びその後の運営にあたっては、下記の事項について留意して取り組むよう強く要望する。

記

- 1 駐屯地施設の整備に係る工事においては、市民の生活環境や事業活動への影響に配慮した適切な措置を講じること。
- 2 駐屯地施設の整備及び運営等における発注においては、地元企業を優先して活用すること。
- 3 佐賀駐屯地（仮称）を防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 9 条に規定する特定防衛施設に早期に指定すること。
- 4 駐屯地に配備される自衛隊は、地域社会との調和を図り、地域社会の発展と本市のまちづくりに貢献すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 5 年 6 月 20 日

佐 賀 市 議 会

衆 議 院 議 長
参 議 院 議 長
内 閣 総 理 大 臣
財 務 大 臣
防 衛 大 臣

議会報告会を開催しました。ご参加ありがとうございました。

日時) 令和5年5月21日(日) 1部全体会: 14時00分～14時45分

2部分科会: 15時05分～16時20分

場所) メートプラザ佐賀 多目的ホール、多目的室、視聴覚室、大会議室

1部全体会

議会の取り組みを紹介しました。

- ・佐賀市議会の概要
- ・さが市議会だよりの紹介
- ・当初予算の概要
- ・常任委員会の紹介・報告
- ・議会トピックス等

議会の取り組みに関する質疑応答の時間も設け、たくさんのご意見をいただきました。



参加者
35名

冒頭、重田音彦議長があいさつをしている様子

2部分科会

総務、福祉教育、経済産業、建設環境の4つの常任委員会ごとに、委員で話し合っ
て決めたテーマについて、資料を使って説明しました。その後、参加者の皆様
から多くのご意見やご質問をいただき、意見交換をすることができました。い
ただいたご意見の中には、さっそく6月定例会の一般質問に取り上げられ、住
民の声として市に届けられたものもありました。

総務委員会「これからのまちづくり協議会について」



参加者
16名

経済産業委員会「佐賀市の経済対策と農業政策!!」



参加者
7名

福祉教育委員会「学校部活動の地域移行について」



参加者
10名

建設環境委員会「さがしのゴミ出しについて」



参加者
9名

令和5年度 議会報告会

「議員と語ろう！～佐賀市の今とこれから～」

議会報告会は、議会広報広聴委員会が主体となって開催しています。今年も議会広報広聴委員を中心に、議会全体で役割分担をして準備を行いました。来年度も議会報告会で多くの市民の皆様とお会いできることを楽しみにしています。



資料の印刷・製本



受け付けの準備



横断歩道での交通整理



↑ 当日の資料はこちらからご覧いただけます



議会報告会の目的

「佐賀市議会基本条例」は、議会報告会の開催を義務付けています。

佐賀市議会基本条例

第6条第4項 議会は、議会及び議員の政策形成能力を強化するとともに、政策提案の拡大を図るために、議員の全部又は一部と市民等との意見交換の場を設けることができる。

第8条 議会は、議会活動の報告の場として、議会報告会を行うものとする。



議会報告会に対する感想やご意見(参加者アンケートより)

○若者が参加するのは少し難しいだろうと感じました。これからをメインで担う若者の意見をもっと出せるような工夫や取り組みが必要ではないかと思います。(20代)

○思っていたより来場者が少ないと感じました。分科会では、他の地域も同じ課題があることを改めて知りました。(50代)

○もう少し身近に意見交換の場があることを希望します。市議会との交流もハードルが低いことが分かって良かったです。(50代)

○まちづくりの課題や要望は出されたけど、まちづくり協議会のあり方について意見交換が足りなかったと思います。でも、こういう話し合いの場は大事だと思います。(50代)

○議会のことを知るよい機会となりました。休日に開催していただき、ありがとうございました。(50代)

○初めて参加しましたが、参加者が少ないのに驚きました。せっかくの市政についての市民との触れ合いの場ですので、開催について、もう少し市民が参加したいという動機作りに工夫が必要ではないかと感じました。(70代)

課題と今後に向けての取り組み

課題

- ・参加者が少なかった。
- ・参加者アンケートで、「自分の意見を伝えることができた、どちらかといえばできた」と回答した方が全体の約4割だった。



今後に向けて

- ・より多くの市民の方に来ていただき、意見交換を充実させる工夫をします。
- ・いただいたご意見を政策提言に生かす取り組みも行ってまいります。

○全国市議会議長会表彰 ○佐賀市表彰

市議会議員として、市政の振興に寄与した功績により全国市議会議長会および佐賀市から表彰されました。

議員在職35年

西岡 義広 議員

〔市議会議員 35年11か月〕

議員在職30年

嘉村 弘和 議員

〔市議会議員 30年2か月〕

議員在職20年

江頭 弘美 議員

〔町議会議員6年5か月
市議会議員17年7か月〕※

※町議会議員としての在職年数は
全国市議会議長会表彰規程により
2分の1に換算されます。



左から嘉村弘和議員、重田音彦議長、
西岡義広議員、江頭弘美議員

議会通信簿



もり 森 かおりさん（末広）

Q：佐賀市の自慢・良いところは？

A：11月に行われるバルーンフェスタは、佐賀市の自慢のイベントです。佐賀平野に舞う色とりどりのバルーンに魅了されます。

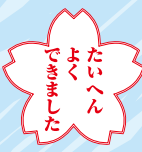
Q：佐賀市のこうなったらいいなあというところは？

A：SAGAアリーナがオープンしました！食事をする所、宿泊する所も充実させて、みんなが「来てよかった」と思ってくたさるよう、取り組んでいただきたいです。

Q：「議会だより」読んでますか？

A：読んでいます。

Q：佐賀市議会に対する5段階評価は？



おくやみ

白倉和子議員（74歳）におかれましては、令和5年7月11日に逝去されました。
総務委員会委員、文教福祉委員会委員、佐賀中部広域連合議会議員、議会広報広聴委員会委員などを歴任され、市政の発展に多大な貢献をされました。
ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



問い合わせ（議会事務局）電話40-7310 FAX 25-5407 E-mail:gikai@city.saga.lg.jp

編集後記

「これまで経験したことのない」という枕詞が常套句になりつつある大雨被害が毎年続きます。今年もまた市内で土砂災害や浸水の被害が発生しました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。内外から支援ボランティアに参加頂いた方々にも感謝と敬意を捧げます。

猛暑の下、台風シーズンの到来で防災、減災、災害支援について考える機会が続きます。身の回りの危険箇所チェック、水、食糧、簡易トイレなど日頃のちょっとした備えの積み重ねがきっとあなたを守ります。

1日開会の9月定例会でも知恵を出し合い議論を深めたいものです。

（山下明子）

私が書きました！！

～表紙題字の作者紹介～



佐賀北高等学校
芸術科書道専攻 3年

さいとう あやな
齊藤 彩菜さん

【将来の夢】
書道を通して少しでも日本の文化の良さを伝えることができるように海外で書道を教えます。

【題字】

流れのある行草を生かして、文字のバランスや勢いを意識しながら書き上げました。